

香美町 ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

ハタハタ旗プロジェクト ～食でつながる人・地域・未来～

このプロジェクトは、近畿大学経営学部主催のビジネスコンテストにおいて、但馬漁業協同組合が課題提起した「ハタハタの魅力発信」に対する学生チームのアイデアを元に、町内の小学生を対象にハタハタの認知度向上や魚食普及を図ることを目的として企画されたもので、産官学連携により6月30日（金）に長井小学校でイベントを実施しました。



近畿大学生が考案した“はたがみさま”

“はたがみさま”が長井小にやってきた?!



“はたがみさま”のイメージをふくらませて作ったよ!

また、この日の給食はハタハタを使用した献立により提供し、子どもたちと一緒に大学生もハタハタを味わいました。ハタハタを食べた6年生の原亜柚香さんは「頭も骨もおいしかった」、同じく6年生の高橋一暢さんは「身がやわらかくておいしかった」と語ってくれました。

この他に、地元の漁業・水産物への関心を一層深めるため、但馬地域の漁法や水産物の流通の仕組みなどの学習も行いました。

当日は、全校生が近畿大学の学生と一緒にハタハタクイズで盛り上がり、香美町の「かみ」とハタハタの語源である「神」を掛け合わせたオリジナルキャラクター“はたがみさま”の「旗」を作製したり、ハタハタを身近に感じる体験を行いました。“はたがみさま”の「旗」は、一人一人の個性が詰まった旗に仕上がり、3年生の小谷知佐妃さんは「大学生と旗作りができて楽しかったです」と語ってくれました。



素揚げのハタハタおいしいね

「ハタハタ旗プロジェクト」を終えて

但馬漁業協同組合の森企画流通課係長は「今日の旗作りを通してハタハタに親近感が湧くと嬉しいです」、香住学校給食センターの杉本栄養教諭は「加工業者の人にも参加していただき、給食で提供される魚料理には多くの人に関わっていると子どもたちに知らせるよい機会となりました」と振り返りました。

町教育委員会では、今後もさまざまな機関と協働する方法を模索しながら食育の取り組みを進めていきます。



“はたがみさま” また来てね!